

DIRECTED BY KAORI SAKAGAMI

PRISON プリズン・サークル CIRCLE

ぼくたちがここに
いる
本当の理由

取材許可まで6年、撮影2年
初めて日本の刑務所にカメラを入れた
庄巻のドキュメンタリー

www.prison-circle.com

©2019 Kaori Sakagami



『プリズン・サークル』上映会

2024年

12月7日(土)

【会場】弘前大学創立50周年記念会館
みちのく記念ホール

入場無料・申込不要

【お問合せ先】法テラス青森

TEL0570-078387

開場 13:30

上映 14:20~16:40

【主催】法テラス青森、青森家庭少年問題研究会、弘前大学学生サークルTeens&Law

【後援】青森保護観察所、青森県保護司会連合会、弘前地区保護司会



過熱する犯罪報道、
厳罰化を叫ぶ声——
けれど私たちは、この国の
「罪」と「罰」について
多くを知らない。

「島根あさひ社会復帰促進センター」は、官民協働の新しい刑務所。警備や職業訓練などを民間が担い、ドアの施錠や食事の搬送は自動化され、ICタグとCCTVカメラが受刑者を監視する。しかし、その真の新しさは、受刑者同士の対話をベースに犯罪の原因を探り、更生を促す「TC (Therapeutic Community = 回復共同体)」というプログラムを日本で唯一導入している点にある。なぜ自分は今ここにいるのか、いかにして償うのか？ 彼らが向き合うのは、犯した罪だけではない。幼い頃に経験した貧困、いじめ、虐待、差別などの記憶。痛み、悲しみ、恥辱や怒りといった感情。そして、それらを表現する言葉を獲得していく…。

DIRECTED BY KAORI SAKAGAMI

PRISON CIRCLE

監督は、『ライフアース 終身刑を超えて』『トークバック 沈黙を破る女たち』など、米国の受刑者を取材し続けてきた坂上香。日本初となる刑務所内の長期撮影には、大きな壁が立ち上がった。取材許可が降りるまでに要した時間は、実に6年。この塙の中のプログラムに2年間密着したカメラは、窃盗や詐欺、強盗傷人、傷害致死などで服役する4人の若者たちが、新たな価値観や生き方を身につけていく姿を克明に描き出していく。

処罰から回復へ
今、日本の刑務所が
変わろうとしている

www.prison-circle.com  [prison_circle](https://twitter.com/prison_circle)  fb.com/prison.circle



会場には駐車場がありません。公共交通機関をご利用のうえ、ご来場ください。
当日、満席となった場合には、入場をお断りすることがありますので、予めご了承ください。